

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hideki Hafuto 〒659-0023 11-13 hama-cho Ashiya Hyougo.JAPAN
 Mail : hafuto@kobe.zaqq.jp Tel 0797-31-8829
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Poul V Thomsen
 全ての世界に出て行こう Go Ye into All The World:
 アジア地域会長 岡野泰和
 未来を始めよう、今すぐに Start Futur Now
 西日本区理事 高瀬稔彦
 志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。
 Attend Club Meetings With a clear motive the most of them.
 六甲部部长 山田滋己
 さらに交流 さらに国際 さらに活発な六甲部へ
 More further interactive & international and we move the Rokko Distorict move active
 芦屋クラブ会長 羽太英樹
 いざ立て、20年をめざして

会 長 羽太英樹
 直前会長 島田 恒
 副 会 長 福原吉孝・堀 清
 書 記 柏原佳子・堀江哲次
 会 計 桑野友子
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 五十嵐かほる(メネット主査)

10

Oct, 2013
 197号

使用済み切手収集はワイズ活動の原点

会計 桑野友子
 最近ではメールのやり取りが主流になり、手書きの封書を頂くことが殆どありません。手紙は時候の挨拶やらいろいろ面倒で、ましてや字が下手だとお返事を書くのも気が重く、ついつい遅れがち。たまに封書が来ても料金別納やらメール便やらで美しい切手の貼られているのは滅多にお目にかかれません。と、言う訳で切手はなかなか集まりません。芦屋クラブ全員がお友達などにお願ひしても1年で1kgを超える事はなく、1kgだと送料の方が高つくし、ここ何年かはダンボール箱に入れたままになっていました。多分他のクラブも事情は同じでしょう。そこで昨年の六甲部BF主査が8クラブ纏めようと提案され、7kg超あった切手はやっと本来の処へ送られました。さて、今年のBF主任は「BFは、全ワイズメンバーの参加によって集められる資金です。使用済みの切手を収集することで世界のワイズを感じましょう」と云われています。こんな状態では資金となるのは殆ど期待できないでしょう。でも使用済み切手を収集する事はワイズの原点で、それにより世界のワイズを感じ、ワイズの精神を思い、ワイズ活動の基本を理解することが大切です。これからも皆で続けていきましょう。

今月の聖句

天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。 御国が来ますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。

<マタイ福音書6:9~11>

10月第1例会プログラム

と き: 2013年10月18日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園3F
 司 会: 上野ワイズ
 受付: 桑野ワイズ・篠坂ワイズ

1. 開会点鐘	羽太会長
2. クラブソング斉唱	一同
3. 聖書朗読	羽太会長
4. ゲスト・ビジター紹介	上野ワイズ
5. 食前感謝	五十嵐ワイズ
6. 食事・歓談	
7. ゲストスピーチ	アジア地域会長 岡野泰和ワイズ 「国際協会とアジア地域の現状」
8) 事業委員報告	各事業委員
9) 第2例会議事録の承認	羽太会長
10) YMCAニュース	藤田連絡主事
11) ニコニコ献金報告	福原ワイズ
12) 誕生祝い	五十嵐ワイズ
13) 閉会点鐘	羽太会長

9月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計
メンバー	16名	出席者	16名	
ビジター	1名	メイクアップ	1名	
ゲスト	1名	合 計	17名	
メネット	3名	在籍者	19名	
合 計	21名	(内広義会員1名)		
		出席率	94,4%	

9月第1例会報告

日時:9月18日(水)19時~21時

場所:ホテル竹園芦屋

司会:福原吉孝 (敬称略)

出席者:田舎庸男 五十嵐政二 かおる 上野恭男 柏

原佳子 桑野友子 島田 恒

篠坂幸彦 都筑省三 堤 清 羽太英樹 光子 畠中由

圭 福原吉孝 藤川晃成

堀江哲次 坂東幸子 藤田良祐(連絡主事)

ゲスト:土器手正彦 ビジター:菅原 進

9月例会は8月例会にて入会された新メンバーを加えた賑やかな例会であった。

今回は神戸クラブから菅原進様 さらに菅原ワイズよりご紹介の土器手正彦様を加えて、進行した。今回のメンバスピー



ーチは五十嵐ワイズの講演であった。演題は「アダムは神の子？サルの子？」というテーマでのお話であった。演題も興味深々であったが、さすがに生物学を極め

られた先生であり、猿と人間の遺伝子の違いが数%であり似通っている事や、男女の染色体の違い、DNAの話から展開され、会場の雰囲気が大変学術的になり、参加者も講演の発表資料に釘付けになっていた。進化論の話にも触れて頂き、さらに卵子との受精の話まで展開して頂いた。人間は人間の卵子と精子が受精し、猿とは決して受精できず全く違う。また人間はアフリカが原産で人間の移動により世界に増えていったとの見識は納得できた。世界のノーベル賞に関与した学者の意見の紹介等興味深い講演であった。ただアメリカの人々は、「人間は神様が作った」と固く信じてる人たちが40%いるという興味あるアンケートもご披露頂き面白く拝聴した。皆様はどのような感想だろうか？やはり人間はサルから進化したと思いますか？それとも現在の人間は人間として進化した子孫・・・どちらと思われたでしょうか？本当に人間の不思議さとDNAの面白さを知ることが出来た講演であった。質疑応答では会場から数多くの質問が寄せられ五十嵐メンが丁寧

に回答されていた。さらに、今日は大変豪華な例会で土器手正彦様によるカントリーミュージックの演奏もあった。がらりと変わった楽しいカントリーミュージックも堪能する事が出来た。お二人の楽しく興味ある講演と演奏に感謝したい。10月の事業であるジャガイモファンドの発注依頼、第二例会の議事録の承認などを頂き無事に例会を終了した。



福原吉孝

会長の独り言

島田会長の後を引き継いで大役を引き受けて3か月が過ぎました。例会では少しアジアに目を向けてワイズを外から見ると面白いと考え、アジアに関わりのあるワイズの方々に話を聞こうと計画中です。8月には権甲植メンから「韓国の教会と日本の中の韓国・朝鮮人」と題して貴重なお話を聞きました。10月にはワイズメンズ国際クラブ・アジア地域会長の岡野泰和メンに、また11月にはマレーシアで日本人教会のご用をされたことのある山崎往夫メンにスピーチを依頼しています。毎回毎回、堅苦しいキリスト教の話もどうか？とご意見もありますので、間に興味をそそる楽しいスピーチのある例会を挟みたいと思っています。既に9月の例会では五十嵐政二メンからメンバースピーチとして「アダムは神の子？サルの子？」と題して進化論の話を聞きました。皆さまから何かアイデアがあればご教示ねがいたいです。「今月の聖句」の選句を依頼されてすでに長くなります。毎回どこを選ぶかと悩みます。ある雑誌に「聖書を手にした幕末維新の人たち」というのがあって、有名な幕末のサムライが聖書を読んでいたという事実を知ってみなさんに紹介しました。

羽太英樹

2013年六甲部部会

第12回六甲部部会は、9月7日(土)に、神戸クリスタルタワー3階のクリスタルホールで開催されました。神戸ポートクラブ



25周年記念例会が14時30分から併催され、140名の参加者が喜びをともにしました。鈴木誠也ワイズが、ユーモアを交えながら25年の歩を語り、四半世紀の年

月の流れを実感しました。

15時45分からはいよいよ六甲部部会が再際され、まずはパナーセレモニーがあり、8クラブのパナーが会場の正面に掲げられました。

部長挨拶のあとは各事業主任と主査の事業報告があり、記念講演となりました。

「練習船、深江丸の東日本大震災支援について」と題し、船長でもある神戸大学大学院海事科学研究科矢野吉治教授の講演を伺いました。続いて「その後の震災復興状況」を東京むかでクラブの城井廣邦ワイズより報告をいただき感銘を新たにしました。山田六甲部部長の感謝の辞で部会は終わりました。

引き続き開催された懇親会では、わが芦屋クラブの3名の新会員も紹介され、楽しく、歌ありで懇親の輪が広がりました。岩国の次期西日本区大会アピールなどで盛り上がった六甲部部会は、たのしかった想いを次期に繋げ、19時に多胡葉子次期部長のあいさつで閉会しました。

上野恭男

爽やかな六甲部

9月7日、新入会員にもかかわらず「六甲部会・メネットアワー・神戸ポートクラブ25周年記念式典」に参加させて頂きました。総勢140名の大会で全てが初体験で少し戸惑いましたが、芦屋クラブの先輩諸氏のエスコートで最後まで色々と勉強になりました。

又、懇親パーティでは上野先輩の紹介の元で、YMCA理事長及び他クラブの数名の方々と名刺交換させて頂き有意義な1日でした。

それにしても、六甲部8クラブの何と『爽やかなこと』か。そして協調精神に満ち溢れ友好関係も素晴らしく、共有するボランティア活動の認識度が高いのは、長年に亘って育まれて来た証だと感じました。

又、六甲部の中で一番歴史が浅いにもかかわらず、我が芦屋クラブの存在感が堂々と輝いている姿を見て誇りに思えました。これもひとえに歴代の役員の方々の熱心な努力の賜物ではないでしょうか。

益々成長してゆく「あの芦屋クラブ？」に乾杯！！

篠坂幸彦

六甲部メネットアワー

9月7日に行われた六甲部会に先立ちメネットアワーが行われました。9月27日から30日に芦屋市民センターで障がい者のアート展を開くにあたり、作品を出して下さる方のお母さん3名に「ともに歩みつけて～たいせつなキミ」と題して日頃、感じていること、知って欲しいことなど、気楽にお話だけいただけたらと計画し、思いがけず進行役を仰せつかりました。事前にお母さん方とお目にかかる時を六甲部メネット主査五十嵐かほるさんが設けて下さいました。

メネットアワーでお母さん方のお話の中から何を重点にお聞きし、会場に集って下さる方にお伝えしたらよいか その後もメールやファックスでご希望をお聞きしつつ、開会前まで話し合い準備をいたしました。

当日は予想を超えて多くの方々が参加して下さいました。本番前かなり緊張していましたが、お母さん方の真摯なお話、又会場からの質問にもしっかり答えて下さる姿勢に、皆さんから、涙が出ました、感動しましたとお言葉をいただきました。約1時間のメネットアワーでしたが皆様のご協力を得て時間通り終える事が出来ました。またお持ちいただいた作品を見つ直接会話出来る時間も取ることが出来、心より感謝しています。

本番のアート展が始まり、こちら初日から多くの方々が来てくださり、目録・アンケート用紙など増刷に追われる嬉しい事態が起きています。芸術の秋、アートの素晴らしさを発信できる機会となったことを嬉しく思います。



羽太光子

きらりと輝くアート展

六甲部メネット主査 五十嵐 かほる 皆様のご協力本当に有り難うございました。5月に会場使用許可をいただき、7月6日に初のメネット連絡会を開き、それからは文字どおりメネットパワーを結集してのダッシュでした。酷暑の中、各クラブのメネット委員達が出展者と交渉して走



り回り、委員会に持ち込み、声をからして検討を重ね、作業をし、熱中症をはね除け乍ら思いを一つにしてみました。絵心の豊富な今田メネット、良き先輩に囲まれ着実に事を進めて下さる長内メネット、すっきり議論の整理をして下さる若さにみちた大野メネットと安行メネット、びしっと纏めて下さる宮

地 特別メネット、しっかりと皆を支えて下さった宗利直前メネット、力強い大田会長の声、そして見事に土台固めをし続けフル回転のわが芦屋クラブ、羽太光子メネット。神戸クラブからは常にベテラン3人で委員会に出席して下さいました。青陽東絵画教室の山村先生のご指導を受けました事は幸いでした。当日に至ってはご覧のとおり六甲部がひとつになって搬入搬出、受付、会場にと多くのメンの協力を得て、まさに協働の場、交流の場でした。

出展者も来場者も多くの喜びの声を寄せて下さいました。「自分の作品を飾ってあってうれしかった」「いろいろな人のがみれてよかった」「ありがとう」等の出展者の言葉、感動した、元気を貰った、心がうきうき踊りだすようだ、カラフルで素晴らしかった等、とても表現しきれない何かに勇気づけられたように明るい顔で会場をあとにされました。

高瀬理事、水野総主事、谷本主任、山田六甲部部長もお忙しいなか、駆けつけて下さいました。不行き届きな点多々あったと思いますが、上野直前六甲部部長、羽太会長を始め芦屋クラブの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。



10月例会スピーカー

岡野泰和ワイズ プロフィール



ワイズ略歴

2002年大阪土佐堀クラブ入会

2004年、2006年クラブ会長

2006年BFデリゲートフルグラントとして
ヨーロッパ地域訪問

2012年西日本区ファンド事業主任

2013年アジア会長

役職 NPO 法人パンゲア理事、ボーイスカウト阪神北
地区団コミッショナー。趣味はカヌー キャンピング

2013年9月第2例会議事録(抄)

9月25日(水)於芦屋市民会館 304号室

第2例会:18時30分~20時00分~懇親会

参加者:羽太会長・上野・柏原・桑野・島田・篠坂・福原・
都筑・藤田・五十嵐メネット

議案

1) 今後の第1例会予定

10月16日(水)場所:竹園 スピーカー岡野泰和メン(ア
ジア地域会長)

11月20日(水)場所:竹園 スピーカー山崎往夫メン(神
戸ポートクラブ)

1月15日(水)ゲストスピーカー候補:今井鎮雄氏

2月19日(水)TOF例会

3月19日(水)1月の調整

2) 12月23日(月・祝)場所:竹園 クリスマス祝会

10月8日(火)第1回クリスマス実行委員会を柏原邸で開
催 羽太会長・上野・柏原・桑野・福原・藤田
音楽は土器手正彦氏バンドに決定

3) 例会の準備について ドライバ制度を検討していく

4) 8月会計報告(桑野会計)了解

5) 芦屋ワイズ15周年の神戸YMCAへの献金は継続審議

6) 「キラリと輝くアート展」をクラブがフォローすることを確認。

7) チャリティゴルフ(芦屋CC)10月23日

8) ジャガイモファンド10月30日 担当 桑野・福原・堤

9) 11月4日(月・祭)チャリティラン

個人献金・・3,000円 例会で呼び掛ける

チヅミ出店の役割を決定

賞品は竹園利用券羽太会長より依頼、真珠のネックレス
は堤ワイズ

2キロのマラソンの伴走者を出す。

10) みどり作業所の新車に芦屋クラブの名前を入れる件は 感謝して承諾。

YMCAニュース

1. 日本YMCA同盟研究所ステップⅡ研修

主事養成のための研修ステップⅡに今年は神戸YMCA
から2名のスタッフを派遣しています。9月17日から11月30
日までの74日間、御殿場市の東山荘と東京のアジア青
少年センターを会場に、「YMCA使命とキリスト教」「社会

の課題と地域ニーズ」「プログラム開発」「組織管理」など
幅広いテーマを集中的に深く掘り下げて研修すると共に、
自分のテーマについてじっくりと本を読み、人の話を聞き、
現場の見学などをする研修となります。

2. タイワークキャンプ30周年記念交流ツアー開催

9月13日より18日まで、中道基夫会長、中尾秀一国際
委員長ら23名が、タイチェンマイを訪問し、ワークキャンプ
の30周年を記念する式典などを行ない、無事帰国され
ました。1984年に第1回が開始されてから途切れることな
く毎年開催され、多い時は23名が参加したこのワークは
30年で419名の参加者を数えます。毎回、チェンマイ郊
外のタイ北部の農村で、図書館、託児所、水タンク、橋、
学校内施設などを建設する作業を、タイのユースや村人
の方々と共に行い、文化の交流、開発教育、奉仕活動
の実践を続けてきました。今後のワークキャンプについて協
議も行い、有意義なツアーとなりました。

3. 本のご紹介

日本YMCA同盟から「日本YMCA人物事典」という本が
出版されました。これは明治から今日に至るまで、日本の
YMCA運動発展のために貢献された方々が400数名、
紹介され、どのように貢献されたが簡略に記載されていま
す。読み物ではありませんが、日頃、よく耳にする先人の
名前も多く有り、神戸YMCA関係者も10数名取り上げ
られています。購入を希望される方は神戸YMCA本部事
務局までご連絡ください。

4. 今後の予定

1) 第16回チャリティラン

日 時:11月4日(月・祝)

場 所:しあわせの村(神戸市北区山田町)

2) 第2回KOBE中高生Sweetsコンテスト

中高生によるスイーツデコレーションコンテストを開催しま
す。

日 時:11月10日(日)13:00~16:00

場 所:ユースプラザ KOBE・EAST

編集後記

「キラリ輝くアート展」は成功裡に終わり、秋
を深く感じます。人が神様に与えられた力が目
に見える形で人の心に届いただけではなく、人
に見えない苦しみや努力までもキラキラと輝
やかせて散りばめられた、そんな催しだったと
おもいます。今、原稿を書き終えて新幹線に乗
られているだろう五十嵐かほるメネット主査
に心から敬意を払います。時に神様はとんでも
ないいたづらをされ、試練を与えられますが、
感謝と優しさを与えられたことに気付きさえ
すれば人は幸せになれるのだと思います。秋の
日のビヨロンのため息の・・・。3日からのゴ
ルフ・U Aプレジデントカップの前夜式中継
で、国歌と共に掲がる日ノ丸に松山英樹の顔が
緊張と期待で輝いています。人生悲喜こもご
も、プロスポーツだと割り切って。柏原佳子